

平成21年度事務事業評価表	担当	総務部 行政課	内線等	1402
---------------	----	---------	-----	------

事務事業名	事務事業評価事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	6. 市民とともに歩むまちづくり	施策名	行政	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	真の自立できる蒲郡を目指す事業			
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い			

事務事業の内容

対象(受益者)	市職員及び市民に対して
手 段	実施した事務事業を事後評価することによって
成果、目標	職員に対してはコスト意識、政策形成能力の向上を図り、市民に対しては行政の透明化、情報の共有化を図る。

成果指標

成果指標名	評価事業数の割合		
成果指標の説明	評価事業数 / 全事業数		
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	32.60%	17.08%	
成果指標			

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
評価事業数	225事業	110事業	100事業
全事業数	691事業	644事業	653事業

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.23人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.18人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H21 人工計	0.23人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.18人	係長級		一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	113	62	92
	人件費	2,192	2,146	
	合計	2,305	2,208	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	2,305	2,208	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	民間による外部評価も必要であるが、実施主体は市が行う。
-------------	----	-----------------------------

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	職員の意識向上を図るため、外部講師を招いて行政改革・行政評価研修を実施した。市民に、よりわかり易くなるよう、また評価表を記載する職員の負担を軽減するため、事務事業評価表の様式変更を実施した。
現在の課題、問題点	現在のやり方で2巡目(6年)が経過しマンネリ化もみられ、また次の政策・施策評価へのステップアップを図る時期に来ている。
今後の改善計画	今まで、毎年全事業の3分の1の事業を評価してきたが、PDCAサイクルをうまく回していくためには、毎年全事業の評価を行う必要がある。また、事業仕分けの手法も検討していく。